

（件名）中国のユニコーン企業について

- ・中国はアメリカに次ぐ世界第2位のユニコーン企業（設立10年以内、評価額10億米ドル以上などの条件を満たすスタートアップ企業）輩出国です。スタートアップ関連等の情報サービス企業・CB INSIGHTSが公表している世界のユニコーン企業リスト（※）には、ByteDance（TikTok運営等）、小紅書（中国大手SNS）、DJI（民生用ドローン製造）などの企業がランクインしており、グローバルに事業を展開している企業も見られます。（※）The Complete List of Unicorn Companies (2025.11)
- ・リストに挙げられている企業の業種はAI、フィンテック、EC関連などが多いのですが、その中でも教育関連でランクインしている中国企業が「猿輔導（Yuanfudao）」です。同社は幼稚園から高校生までを対象としたオンライン教育の老舗企業で、コロナ禍で自宅隔離が求められた際に需要が増し、事業規模を拡大してきました。近年はオンライン教育市場の競争激化や、政府による学外教育の規制等を受け、飲食や衣類の事業を立ち上げるなど、事業の多角化を進めています。
- ・その他、中国で流行している新茶飲（新鮮なフルーツやミルクなどをブレンドしたお茶）のブランド「喜茶（HEYTEA）」もランクインしています。新茶飲関連では、喜茶以外にも「霸王茶姬（CHAGEE）」、「茶百道（Cha Panda）」などのブランドが中国内に多店舗展開しており、競争が激しくなる中で海外に販路を求める動きが加速しています。

（件名）日本産の花き・食品のPRイベントについて

- ・早咲きの桜を披露するイベント「首桜礼」が上海市内で開催され、桜とともに日本産品のPRが行われました。イベントの概要は次のとおりです。

【首桜礼】

- ・日 時：2026年1月12日（月）13:00～18:00
 - ・会 場：リッツカールトンホテル上海浦東3階
 - ・主 催：ジェトロ上海事務所
 - ・共 催：在上海日本国総領事館、全国花き輸出拡大協議会、FLOWER KING
 - ・出展者：日系食品メーカー、日本産品販売企業等14社・団体
 - ・来場者：各国在外公館関係者、花き関係者、飲食店、卸売・小売等約200名
- ・会場には山形県などから輸入された桜が展示されるとともに、フラワーデザインアーティストの小林佑治氏による桜を使った生け花のデモンストレーションも行われ、来場者の注目を集めました。
 - ・また、会場内の個別ブースでは日本酒・焼酎等のアルコール類、スイーツなどの試食・試飲を交えたPRが行われました。道産品を取り扱う現地商社のブースでは、道産米、道産オニオンスープが振舞われ、気に入った商品をお店でECを通じて購入する人の姿も見られました。
 - ・日中関係の緊張が続く中ですが、前年よりも多くの来場者が集まったことが印象的でした。日本の文化や産品に対する関心、ニーズを効果的に取り込みながら、道産品の販路拡大が進められています。



日本から輸入された桜の切り枝



北海道産の米やオニオンスープのPR